

世界の若者が“食”で日本を変える！ 外食産業×外国人高度人材の未来社会の実験場、万博で始動 ー グローバルインターンシップ『宴』、未来のチェンジメーカー育成プロジェクト ー

一般社団法人 大阪外食産業協会（以下ORA）は、一般社団法人Transcend-Learning（以下TL、所在地：大阪府大阪市中央区、代表理事：吉田 圭輔）との共催で、2025年大阪・関西万博を契機とした未来社会の実験型のインターンシップ「グローバルインターンシップ・宴」を開始します。

本プロジェクトは、国内の大学・大学院に在籍する外国人留学生と日本人学生がチームを組み、外食産業のリアルな課題に挑む実践型プログラムです。多様な視点と専門性を活かし、業界のイノベーションと国際競争力の強化を目指します。参加者は約500名（予定）で、世界の若者たちが日本の食文化を舞台に革新的な解決策を提案します。

◆プロジェクトの背景：万博のレガシーとして、外食産業の未来を拓く

日本の外食産業は、人手不足や事業の引き継ぎなどの根本的な課題を抱えています。さらに、外国人観光客の増加と2025年の大阪・関西万博の開催をチャンスとして、国際的な視点から新しいサービスを開発したり、多様な食文化に対応したりすることが急務です。

このプロジェクトは、そんな課題解決の鍵として「外国人高度人材」の力に注目。世界中の意欲ある若者たちが、日本の「食」の現場で取り組み、業界に新たな価値を生む社会実験です。これにより、万博のレガシーとして、外食産業のグローバル化と人材多様性を定着させ、持続可能な日本経済全体への波及効果を期待しています。

◆グローバルインターンシップ『宴』について：企業も学生から学ぶ「双方向メンタリング」

『宴』は、国籍や分野の異なる学生がチームを組み、外食業界の課題に約3ヶ月間挑むプログラムです。特徴は、外食企業社員が学生を指導するだけでなく、学生の視点から自社の課題を発見し、共に成長する「双方向メンタリング」です。これは、教える・教わる関係を越えた新しい産学連携モデルで、参加学生は革新的なアイデアを生む「チェンジメーカー」として成長します。

◆NFT技術の活用で、新たな“きずな”を可視化

本プロジェクトでは、参加学生の活動を証明するNFTを活用します。株式会社電通の協力で、交流が深まるにつれ形状が変わる「アメちゃんNFT」を導入し、信頼関係を情緒的に表現します。また、株式会社ODKソリューションズのNFTデジタルパスポートも使用し、公的な証明として活用。参加者（学生と社会人）の行動を数値化・表彰し、モチベーション向上と成果の永続記録を実現します。

◆本プロジェクトが目指す未来

ORAは本プロジェクトを通じて、外食産業の持続的な発展に貢献するため、以下の3つを目指します。

1. イノベーションの創出：若者たちの発想から生まれる新商品・サービスの開発。
2. 国際競争力の強化：世界視点を取り入れた持続可能な運営モデルの構築。

3. 未来を担う人材の育成：多様なリーダー「チェンジメーカー」の育成と、外食企業人材の成長。
これにより、外食産業全体の活性化と、万博後の日本経済への貢献を期待しています。

◆参加学生・メンターの声（抜粋）

- ・大阪公立大学の日本人学生（医学部）：「万博を通じて課題解決能力を身につけ、自分の専門で挑戦したい」
- ・法政大学の外国人留学生（韓国出身）：「東京から参加。大阪の外食産業のすごいところを学び、率直に教えを乞いたい」
- ・外食業界社会人メンター（代表取締役社長）：「実務的な視点で助言し、学生の視点から自社を見直したい。共に成長できる機会です」

◆プロジェクトキックオフのご取材について

参加学生チームの始動にあたり、キックオフミーティングを下記日程で実施します。当日は、参加学生の紹介と、取り組む課題のディスカッションを予定しています。ご多忙とは存じますが、世界の若者が日本の外食産業の未来に挑む第一歩ですので、よろしければご取材いただけますと幸いです。

- ・ **日時**：2025年8月10日（日） 13:30～16:30（終了後、交流会を予定）
- ・ **場所**：グランフロント大阪 北館 ナレッジキャピタル「JAM BASE」5階 会議室（大阪市北区大深町3-1）
- ・ **内容**：プロジェクト概要説明、参加学生と企業メンターの交流、取り組みテーマに関するディスカッション、「アメちゃんNFT」体験会 等

※本会は記者会見ではございません。学生たちの活動開始にあたっての内部向けキックオフとなります。取材をご希望の際は、下記お問い合わせ先まで事前にご連絡ください。



（写真左） 真剣なまなざしで、外食産業を学ぶ 日本人学生と外国人留学生達（6月25日 事前研修実施 関西大学梅田キャンパス）

活動の様子詳細：公式HP：<https://www.leapbeyonddiversity.com/>

【本件に関するお問い合わせ先】取材ご希望の方は事前連絡を

※本プロジェクトの運営および取材に関するお問い合わせは、一般社団法人Transcend-Learningにて承ります。

一般社団法人Transcend-Learning

担当：グローバルインターンシップ『宴』事務局 一般社団法人Transcend-Learning代表 吉田

所在地：〒541-0057 大阪府中央区北久宝寺町3-1-6 3F

TEL：06-6226-8140

Email：yoshida.keisuke@transcend-learning.org

以上

【補足資料】

補足資料1：プロジェクト体制

- **名称:** グローバルインターンシップ・宴
- **主催:** 一般社団法人Transcend-Learning
- **共催:** 一般社団法人大阪外食産業協会
- **協力:** 留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS、株式会社電通、株式会社ODKソリューションズ
- **プレミアムパートナー:** 株式会社エターナルホスピタリティグループ、株式会社グルメ杵屋
- **パートナー:** 大起水産株式会社
- **期間:** 2025年8月10日（チーム結成）～2025年10月9日（発表会）（12月別途award開催予定）。

補足資料2：募集対象詳細

一般社団法人Transcend-Learning公式HP：<https://transcend-learning.org>

外国人留学生: 留学生就職支援コンソーシアムSUCCESS加盟18大学（愛媛大学、大阪公立大学、大阪大学、岡山大学、関西大学、関西学院大学、筑波大学、同志社大学、奈良先端科学技術大学院大学、法政大学、立命館大学、琉球大学、九州大学共創学部、芝浦工業大学、兵庫県立大学、千葉大学、大阪教育大学、茨城大学）他。

- **日本人学生:** 関西大学をはじめとした関西の大学約14,000名。（京都大学、神戸大学の学生も参加）
- **その他 専門学校参加**

補足資料3：一般社団法人Transcend-Learningの実績と社会的評価

18大学の外国人留学生と連携するコンソーシアムSUCCESSの企画・運営などを事業柱に、次世代リーダー育成を目的とする一般社団法人。数々の産学連携プロジェクト実績を基に、本事業全体の教育設計とプログラム運営を担当。

- これまでに50社以上の企業と連携し、10,000名以上のグローバル人材を輩出。日本経済新聞、読売新聞など多数メディアで取り上げられ、経済産業省 近畿経済産業局の第7回「はなやかK ANSAI魅力アップアワード」特別賞を受賞。
- 代表理事の吉田圭輔は、関西大学の留学生就職率を4割から6割に向上させた実績を持ちます（日本経済新聞 朝刊掲載 2025年4月30日、2019年7月19日）。

補足資料4：プログラムの詳細な流れ

1. **チーム形成とメンターとの出会い（8月10日キックオフ）:** キックオフでチームを結成し、メンターと顔合わせ。メンターはチームビルディングを支援しながら、学生たちの多様な個性や潜在能力に触れます。
2. **課題設定と現場での情報収集:** ORA外食パビリオン『宴～UTAGE』での就業体験（CAST体験）などを通じてリアルな課題を設定。メンターが専門的知見で助言する一方、学生の斬新な視点がメンターに新たな気づきを与えます。
3. **中間発表と軌道修正:** 中間発表では多角的なフィードバックを受け、アイデアを磨き上げます。学生からのユニークな提案がメンターの思考を刺激し、新たなビジネスのヒントに繋がります。
4. **万博会場での最終発表:** 最終発表会は万博会場内にあるフェスティバルステーションで10月9日に予定。